

剣道にかける青春

県立大館高校は、その前身である大館南高校の時代から剣道の強豪校として知られています。剣道場の壁には、たくさん賞状や新聞記事があり、先輩たちの残した伝統と実績を垣間見ることが出来ます。そんな伝統を受け継いでいる、現在の剣道部員は7人。日本の代表的な武道である剣道に打ち込む高校生を取材しました。



広報市民リポーターだより

リポーター

きゅうゆう

西村 久祐さん

(大町)



ここ数年、スポーツ人口が減り続けていると言われていました。少子化の影響もあってか、学校の部活動でも人数不足に悩まされています。

剣道もその例に漏れないのですが、以前から大館地区は剣道が盛んで、大館高校剣道部は、大館南高校の時代から数多い実績を残してきました。昨年からは高校時代部活の同期であった三沢先生が赴任し、伝統を受け継ぐと熱心に指導をしています。かつて、共に汗を流したよしみで、訪ねることにしました。

あくる日に道場を訪問すると、部員たちが元気なあいさつで迎えてくれました。稽古の準備をして面を着けると、道場の空気がピンと張り詰めるのは、剣道が武道であることの証でしょう。剣道特有の気合いが飛び交います。練習後の部員たちにお話を伺いました。